

緑の風 NEWS

JR東労組



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2025年5月1日 No.105

5月1日は「メーデー」 8時間労働の歴史を考えよう!

◆メーデーとは?

12～14時間の長時間労働が当たり前だった1886年のアメリカにおいて「8時間は労働に、8時間は休息に、そしてあとの8時間は自分の自由な時間のために」を求めて5月1日に労働者が立ち上がったことを起源に、世界的に労働条件改善を求めるようになったのが「メーデー」です。



第96回メーデー中央大会
(4月26日)

激しいたたかいの末、現在の「8時間労働」が確立されたのです。



◆あなたの職場の過半数代表は「見て見ぬふり」していませんか?

組織再編や「融合と連携」で業務量が増えたり、要員不足による休日出勤や長時間労働で、心も身体も持たないとの声が寄せられています。年休を消化しきれず流す人も少なくありません。

一方で「36協定」の締結権者が労働組合ではなく過半数代表となった職場が増えていますが、社員の健康を守るため、総労働時間短縮について使用者側と議論することも過半数代表者の重要な役割です。

皆さんが一票を投じて選んだ過半数代表者は、社員の健康を守る役割を果たしていますか? 慢性的な長時間労働や休日出勤、サービス超勤が黙認されてはいませんか? 一人ひとりが「経営のチェック機能」を果たし、声を上げることが大切です。

あきらめていては現状は何も変わりません!

JR東労組に結集し、健康に働ける職場を創り上げよう!